

育成 見附

見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

Mail : ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

見附市青少年育成センター 令和4年度の取組

5月17日に開催された「見附市青少年育成センター運営委員会」で今年度の育成センターの運営について、次のように承認されました。恒例の事業を改善・充実させ、効果的に取り組んでいきます。

1 運営の目的

青少年の健全育成を総合的に推進する。

2 運営の方針

- (1) 青少年の健やかな成長を支えます。
- (2) 青少年の非行の未然防止と早期発見に努め、楽しい生活を送るためのアドバイスを行います。
- (3) 青少年の悩みや心配事を、青少年・保護者と一緒に考えます。

3 主な事業

- (1) 街頭指導事業 <愛の一声で非行防止>
青少年が集まりやすく保護者や学校の目の届きにくい場所を巡回し、非行に結びつくと思われる行為に対し、愛の一声(注意・助言等)の適切な指導の手をさしのべ、青少年の自省を促すことで非行を未然に防止していきます。
- (2) 育成相談事業 <青少年なんでも相談>
青少年の不登校、怠学、いじめ、非行等の問題行動や悩み事に関する本人、保護者、学校職員、市民等からの相談に対し助言や相談を行います。相談内容により、保護者の了解を得て関係学

校との連携や関係機関の紹介及び相談の委嘱を行います。

面接相談：水曜日（9時～16時）
 面接場所：青少年育成センター相談室
 電話相談：月～金曜日（9時～16時）
 メール相談：随時

(3) 青少年育成事業

○環境浄化活動

青少年を取り巻く社会環境について、有害環境の把握に努め、関係業者の自主規制による協力要請を行っていきます。

○青少年育成関係機関・団体との連携

青少年育成の関係機関・団体との連携を深め、対策を協議していきます。

- ・市立小・中学校（シェイクハンド学校訪問）
- ・見附地区学校警察等連絡協議会
- ・見附市子ども支援対策地域協議会

今年度の青少年指導員の方々を紹介します

街頭指導事業を推進してくださる「見附市青少年指導員」の皆様は次の23人です。6班編成で市内各所を巡回し、青少年に愛の声かけをします。出会う多くの青少年から明るいまいさつをもらい、育成活動に熱が入ります。よろしくお願ひします。

(敬称略 ◎印は班長)

1班	◎高橋美佐子	清水芳夫	佐藤芳紀	松原 司
2班	◎親松 巖	関口光弘	木歩士愛	櫻井仁也
3班	◎佐藤宏子	中澤高雄	五十嵐美喜子	田崎加奈子
4班	◎西川直樹	後藤桂太	見附高校P	創進学園高校P
5班	◎板垣秀幸	安藤光子	遠藤江梨香	山田由美
6班	◎吉野敬子	徳橋良子	若杉信子	

年間街頭指導予定

*活動回数 51回
(各班7回以上)

*従事人数 延べ194人

※青少年指導員には、市内の高等学校の先生2人とPTA役員10人(中学校8人、高校2人)が含まれています。

青少年育成センター紹介パンフレットを作成しました

5月17日の運営委員会で「青少年育成センターの存在を市民に広く周知するために、もっと広報すべきである。」というご意見をいただきました。

それを受けて、パンフレットを作成しました。親しみやすさを示すために、見附市公式レポーターの村上徹様の漫画を裏面に入れました。

これを、夏休み前に市内の小・中・特別支援学校の全児童・生徒に配付するとともに、2つの高等学校にもお届けしました。

自分のこと・友達のこと・お子さんのこと……なんでもご相談ください

見附市 青少年育成センター

見附市青少年育成センターは、見附市教育委員会の機関として
相談員が常駐し、相談業務を行っています。

Q：青少年育成センターってどんなところ？

- ① 子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるように、アドバイスを行います。
- ② お子さんの悩みや心配事を解決する方法について、保護者の皆さんと一緒に考えます。



Q：青少年育成センターって何をしているの？

- ① 電話、面談、メール等で、相談活動を行っています。
→ 市内の小学校や中学校、高校の子どもたちや、保護者の皆様からの悩み事や心配事の相談を行います。
- ② 必要に応じて、様々な学校外の機関を紹介したり、連携をすすめます。
- ③ 街頭指導事業を行っています。
→ 見附市青少年指導員の皆様が、定期的に市内各所の巡回指導をしています。

～相談内容の秘密は固くお守りします。お気軽にお電話ください。～

○電話相談 毎週月曜～金曜 午前10時～午後3時
電話番号 62-5739

○面談による相談 毎週水曜日を基本としますが、連絡をいただければ調整いたします。
○メールによる相談

ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

○青少年育成センターの場所
見附市学校町2-7-9 みつけ伝承館2階

※見附市ホームページもご覧ください。
<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/3085.htm> (HPのQRコード)

裏面の「紹介マンガ」もご覧ください →→→



「困った時にその名を呼べば」
見附市公式レポーター 村上 徹

知らなくて損することって、世の中本当に多いです。日々の暮らしの中で「もっと早く知ってたら！」と思うこと、その数が多いに多すぎて、つい「それじゃ仕方ないかな」と諦めたり、忘れたい思いで押しつぶしてしまったり。でも「もっと早く知ってたら！」の「いつか」が、いつかの「今」にスルーするのはあまりにもったいないと思いませんか？

青少年育成センターの活動も「もっと早く知ってたら！」の「いつか」が、いつかの「今」にスルーするのはあまりにもったいないと思いませんか？

センターの方は「年々、相談数は減っている」と言っていました。僕の勝手な肌感覚ですが子供の成長や環境に関する悩みは（親も、子供自身も）以前と比べて増えている気がします。小さな夢のうちに解決することがほとんどだと思いますが、中には簡単に相談できず、重大化するケースもあるのではないのでしょうか？

（窓口の存在を知った上でいきなり知らない相手への電話や面談は、ちょっとハードルが高い……と思う方もいるのではないかな）と思い、センターの方にメールでの相談も検討して欲しいと意見しました。ご自身が悩んでいる場合はもちろん、周囲でひとり頭を抱えている方がいたら、青少年育成センターへの相談をお勧めしてみてもいいかなと思います。

青少年育成センターの相談以外にも、見附市には暮らし、雇用、法律、育児、障害者福祉など多様な相談窓口が設置されています。詳しくは広報見附のホームページ、または見附市役所までお問合せ下さい！

見附市公式レポーター 村上 徹 (Tooru Murakami)

街頭指導報告から 6月・7月

- 6月15日**
- ・サウドボールや蔦屋では、先月からの1か月で特に気になる事案はないとのことだった。
 - ・見附駅の地下通路では、男子高校生より「ご苦労様」と声を掛けられ、ほっとした気持ちになった。
- 6月23日**
- ・今町5丁目の『ひらせい』側道路を車で走行中、右側を自転車で走ってきた高校生くらいの男の子が無灯火だったので注意した。自転車の右側通行、無灯火は本当に危険なので、事故になる前に気をつけて注意していきたいと思う。

- 青少年指導員は、名札(指導員証)を着けて街頭指導に当たっています。悪い行為を注意するだけではなく、道行く青少年をあたたかく見守ります。
- 7月 7日**
- ・駅前への歩道を、自転車が走って行く姿がチラホラ見られた。
 - ・女子高校生2～3人に声掛けし、3年生の進路について質問したり話し合ったりした。
- 7月13日**
- ・駅の駐輪場から道路に出る時に、左右を確認しない自転車が何台もあり、声掛けをした。
- 7月21日**
- ・メジャーロードで話を聞いた。子供たちが来ても時間を守って遊んでいるということだった。